

まえがき

氣功に出逢う前、私はハンドメイドを楽しむ専業主婦でした。

子どもの手が離れたころ、一生できる仕事を見つけて起業する！と決めたタイミングで偶然『愛と癒しのサロン るんなむ』（沖縄県南城市）を訪れ、そこで「氣功」というモノを知りました。

るんなむの主である龍光氏から初めて聞く氣功の話は驚くことばかり。見せていただいたご夫婦の写真にはきれいな光が写り込んでいたり、「体調が回復しました」とクライアント様からお礼の手紙があったり。何より龍光氏のご年齢に対して驚くほどお肌や髪の毛がツヤツヤなのです!!「これは氣功のお陰ですよ～。あなた向いてますよ、氣功師になりませんか？」とおっしゃるその穏やかさと若々しさがたいへん印象的だったことを覚えています。

目には見えない不思議な力を持っているであろう氣功。龍光氏のお話を伺っているとはじめに感じていた怪しさは瞬く間に払拭されました。それどころかたいへん興味を持ち帰宅した後も氣功のことが頭から離れず、『私も氣功ができるようになって自分の中の氣を回したい！ いつも元気でお肌も髪の毛もツヤツヤになれるなんて最高♪ 氣功ができるようになれば家族にも孝行できるし、そのうち龍光さんのように仕事として人様に喜んでいただけるようになるかも？ 想像しただけで楽しいっ♪ そうなれたら嬉しいな～♪』と私の気持ちはどんどん傾き、とうとう氣功の習得を決心しました。

調べると私が住んでいる近畿圏内にも氣功教室はあったのですが、何しろ目に見えない不確定なものだけに検討しはじめると迷うばかり。「どんなに遠くても一番はじめに氣功の存在を知るきっかけとなった龍光さんから学ぼう！」と問い合わせると話がトントンと進み、「氣功」という単語を知った3カ月後には龍光氏が開講する医療氣功師養成初級講座を受講しました。実際に氣功を学んで友達に氣功施術を試してみると思っていた以上に好反応を得られ、すっかりその気になった私はその2カ月後に残る全コースを修了し、氣号^{りゅうが}「龍鷺」を拝命して晴れて氣功師になりました。

こうして氣功を知ったわずか半年後にはRyuga氣功院を立ち上げ事業登録をして、少し前から想っていた「一生どこでもできる仕事がしたい！ 起業したい！」という夢のスタートラインに立ちました。手探りで氣功を施術をさせていただきながら、そこで得た体験や知識を基に「興味を持った人が気軽に氣功に触れることができる環境を整えたい。そして“氣”を扱えるようになってほしい！」との思いから「ご自愛chi氣功®」を確立して現在も進化しながら龍鷺の氣功法をお伝えしています。

本書は私自身も不思議に思っていた「氣功って何？」「なんでそんなことができるの？」「本当に??」「理解できない！」「才能とか使命とか、何かある人じゃなきゃできないでしょう？」「修行が必要でしょう？」などの謎が解明できる、私だからこそ書ける素人目線の氣功の本です。

加えて起業直後から今日まで、絶えず自分サイズでお仕事させていただいている龍鷺のマインド設定も取り込みながら書き下ろしました。

素敵なクライアント様に恵まれているのは本当に自慢なのですが、その秘訣はこのマインド設定にあるのかも!?

読み進めると私が提唱する「ご自愛chi氣功®」の概要を学んでいただけますので楽しみながらご覧くださいませ。

世界中の人にとって近い将来、身近にある氣を感じて使いこなすのは当たり前な時代がくるでしょう。

そんな素敵な未来の一端を担って筆を執ります。

＊「ご自愛chi氣功®」はRyuga氣功院の商標登録です。

～龍鷺のつぶやきコラム～

「氣功のお話を始める前に」

「氣」というこの字。

一般的には「氣」の字を使いますが私は「氣功」と表記しています。

氣＝气〈風や雲など〉＋

米〈栄養、エネルギー、八方に広がる様子〉

氣＝气〈風や雲など〉＋丩〈止める、締める〉

を意味します。

戦前は常用漢字として「氣」が使われていましたが、戦後の漢字の見直しで今では「氣」という字が常用されていますね。

風は留まるよりも八方に広がるのが自然ですし、何よりも「締める」より「エネルギーが広がる」と意味を捉えるほうが自然だと感じるので、「氣功」に関する表現にはあえて「氣」の文字を使います。

何気ない違いに思うかもしれませんが、
脳で認知して受け取る情報として、とても大切です！